

# こんにちは 議会です

No. 3

発行・三股町議会

## 3月定例会

一般会計・本町初の高額84億円を可決

各委員会注文をつける

一般質問、十四議員が問う

視点・論点・盆地唯一の文化会館着工

9P 8P 5P 2P



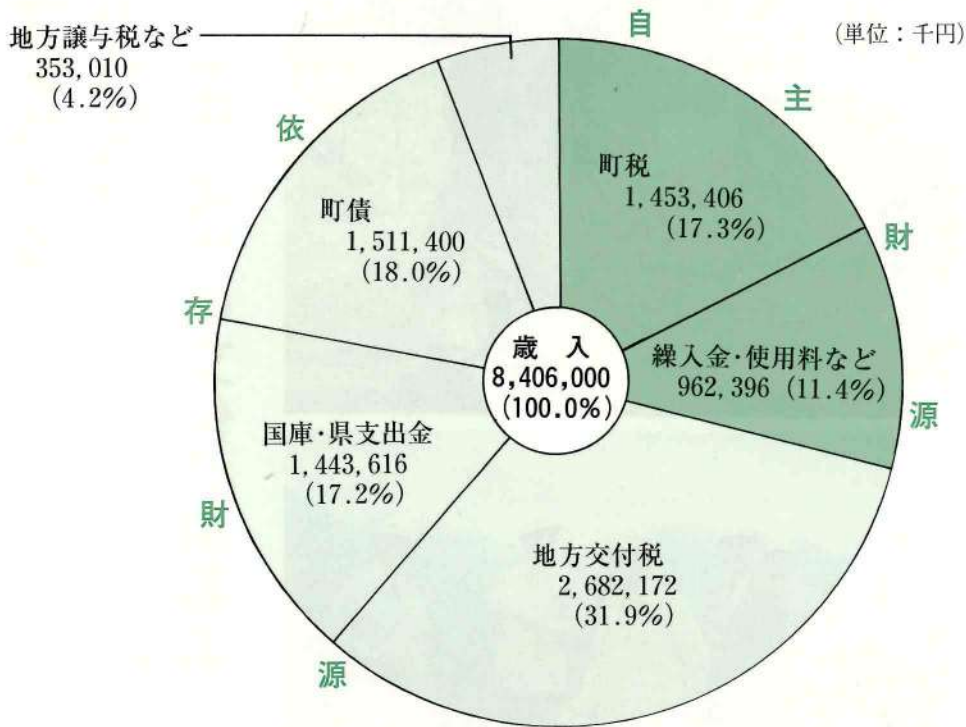
輸入材80%の時代といわれ、林業経営は難しい時代になった。しかし、森林の果している役割は大きい。今回、農林建設常任委員が、町有林の現地調査を行いました。



白熱の論戦が展開された3月議会

# 億円を可決 (一部修正)

歳入はどこから……………



■ **自主財源** 24億1,580万2千円 (28.7%)

□ **依存財源** 59億9,019万8千円 (71.3%)





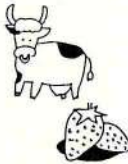

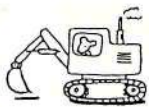





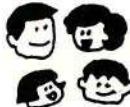
本年度予算の特色は、大型予算であることです。(対前年度比21.4%増) 歳出で大きく伸びたのが衛生費の82.1%増です。これは一般廃棄物最終処分場の建設関係(9億8,000万円)や資源ゴミ回収補助金等によるものです。

土木費も33.9%の伸びです。限りある予算ですのでその有効的な執行を期待している所です。

# 一般会計

# 本町初の高額84

## 歳出84億円のつかいみち

議会費 1億5千円 1.2%	総務費 10億4,990万円 12.5%	民生費 18億5,113万5千円 22.0%	衛生費 15億4,862万6千円 18.4%	農林水産業費 6億6,561万5千円 7.9%	商工費 1億1,850万4千円 1.4%	土木費 13億5,935万6千円 16.2%
						
消防費 1億9,398万円 2.3%	教育費 9億9,034万7千円 11.8%	災害復旧費 932万9千円 0.1%	公債費 4億8,155万7千円 5.7%	諸支出金 3,464万6千円 0.4%	予備費 500万円 0.1%	
						

### 〔一部修正について〕

総合福祉センター建設の予定地の地質調査費の200万円について減額修正の動議があり、賛成多数で可決したものです。理由は①温泉の空中探査で有力な資源があるとのことならば温泉の活用を中心にした福祉施設作りが望ましい。②現在、一般廃棄物最終処分場（16億円）・文化会館建設（32億円位）と大型事業があり公債比率も高く財政硬直化の恐れがある。もっと計画的な事業を進めるべきである。以上の事から修正されました。

会期日程

3月8日	本会議	議案上程
3月11日	本会議	総括質疑
3月12日	委員会	議案審査
3月13日	委員会	議案審査
3月14日	委員会	議案審査
3月15日	委員会	議案審査
3月18日	委員会	議案審査
3月19日	本会議	一般質問
3月21日	本会議	一般質問
3月22日	本会議	委員長報告 質疑・討論・採択

3月定例会は8日に開会し84億の一般会計をはじめとする議案26件、意見書4件、請願2件が上程されました。



農業集落排水事業  
供用開始の梶山処理施設

平成8年度 特別会計予算

単位：千円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	1,698,671	1,698,671
老人保健	2,266,733	2,266,733
国民健康保険病院事業	770,638	770,638
水道事業	316,230	294,016
梶山地区農集排事業	32,944	32,944
宮村南部農集排事業	210,636	210,636
合計	5,295,852	5,273,638

病院会計など  
6特別会計予算を可決

# 各委員会、注文をつける

## 文教厚生

- ① 総合福祉センターの建設は温泉開発と並行すべきである。
- ② 国保税は徴収時期や回数等について再検討すべきではないか。
- ③ 資源ゴミのリサイクル指導員は従来通り置くべきではないか。
- ④ 旧給食センターの使用契約は適切に処置すべきではないか。
- ⑤ 長田小学校付近は交通量も多く危険である。県道の拡張工事の際、歩道橋の設置を県に要求して欲しい。
- ⑥ 地区公民館は倉庫等を整備して欲しい。

## 農林建設

- ① 歳出について町単独事業等の執行残が多い。予算化している委託料、原材料費、工事請負費についてできるかぎり執行すること。
- ② 補助事業獲得のため国、県への陳情活動を計



改良工事が進む三股駅小さぎす線

画的に実施すべきではないか。

- ③ 地籍調査の事業遅れが目立つ。この事業の特性から人的配置等について十分配慮すべきである。
- ④ 町営住宅の空室が目立つ。今後、早急に建替え事業に取り組むこと。

## 総務

- ① 水道料金の徴収還付金については他の税金との関係ですっきりしない。一考すべきではないか。
- ② 花火大会は他の行事との関係、場所等について今少し考えるべきではないか。

# 議会への提言



(東原) 北野 一郎

## 議会を傍聴して

私は、平成六年七月から本町に永住するようになって、地区の方々をはじめ、三股中学校在勤時の教え子の皆さんと話し合う機会が多くなると共に、その間、町長選をはじめ県議選・町議選等もあって、町政に関心をもつようになり、その糸口が議会の傍聴でした。

現在は本町議会だけでなく、知人の活躍する県議会や都市議会もできるだけ傍聴して、質問応答の要点や感想等を記録している。それは、議員から傍聴へのお礼と質問内容をはじめ、執行部の答弁等についての意見を求められるからである。

今回は、その記録から一部を抜粋してみよう。

第一に、本町では議長席の脇机に花が飾られており、更に、自席に着かれる議員や執行部の方々が、傍聴席に軽く会釈されることによって、堅苦しく感じられる議場が、親近感のある雰囲気になることです。しかも、本会議の開始・終了時には、必ず「起立・礼」が始まり、終わることは、議会の権威と品位の保持からも大切なことだと痛感している。

次に「議会がその職責を完全に達成するか、否かは、議員の自省と選挙人の自覚と旺盛なる批判にまたなければならぬ。」といわれ、「議会は言論の府であるから、質問を行うことは議員の責務である。」とあるが、質問のための質問(形式的)でなく、住民の要望・執行機関に対する批判や疑義等を住民に代って行うものである。したがって、議員は住民に密着した日常活動を通じて知り、疑問と思ったことを質問することが最重要であり、かつ

住民にも必要なことである。地味できめ細い議員活動からとりあげた質問の強み、必要性をもつと議員も住民も、共に認識すべきである。

議会を傍聴してみませんか!!

町政を知る良い機会です

次の本会議は6月中旬の予定です

くわしくは  
議会事務局まで ☎52-1111



質問事項	要旨	質問者
小・中学校の過密解消について	①中学校の分離について(9月定例会、その後) ②三股西小のプレハブ校舎について	山 領 征 男
施政方針について	①福祉行政の充実・高齢者の在宅介護について ②将来の公的介護保険制度について ③弱者・障害者の各入所施設についての考え	吉 田 浩
商工業観光振興について	①商工業団体育成強化・商工業観光振興について ②商工観光課の設置について	吉 田 浩
林業振興について	①町有林委託管理・立木処分の評価調査入札等について ②林道の整備等(ふるさと林道緊急整備事業) ③森林組合三股支所の存続を	永 山 龍 郎
職員の異動について	①職員の異動基準は ②職員の研修計画は ③文化会館(町民会館)完成後の職員配置について	永 山 龍 郎
町長の政治姿勢について	諸々の検討事項についてその後の経緯について ①庁議の開催状況について ②施設整備などについて ③指名入札について	黒 木 孝 光
過疎対策について	①各学校の児童数について ②地域活性化対策について	黒 木 孝 光
老人福祉について	老人福祉に関するボランティアのシステム化について	池 田 克 子
中学校の運動施設について	運動施設の整備について	中 石 高 男
スポーツ施設の対応について	2地区体育館建設に対するその後の検討結果について	中 石 高 男
県道安久桜木線について	改良工事の進捗状況と今後の見通しについて	田 上 良 夫
梶山地区農業集落排水事業について	①事業の推進状況は ②今後の取り組みは	小 牧 利 美
施政方針について	農林水産業振興の町づくりの取り組みについて	小 牧 利 美
電算機導入について	電算機導入の目的について(メリットは)	原 田 重 治
町長の政治姿勢について	地方債の借り換え・繰上げ償還は財政健全化にとって重要その積極的実施を	中 村 力 雄
福祉問題について	暮らしと福祉を守る行政・高齢化社会に即応できる充実した行政実施対策を (障害者の政策・毎日宅配給食サービス・入院給食費援助・介護ヘルパー対策等)	中 村 力 雄
施政方針について	①環境整備とリサイクルの今後の取り組み ②花と緑と水の町としての取り組み	的 場 茂
商工観光行政について	①椎八重公園・上米公園の整備について ②観光協会について ③駅前開発について	東 村 和 往
予算の編成について	①効果的な予算配分について ②歳入の確保について	重 久 邦 仁
三股町総合計画について	実施計画等について	重 久 邦 仁
施政方針について	重点政策と予算の関係	高 畑 信 雄

# 一般質問

この一般質問は、行政全般にわたり一議員一問につき30分以内で行われます。紙面の都合上、今回6問を掲載しましたが、その主旨だけの紹介になっております。

## はかれ！森林活性化



永山龍郎議員

**問** 委託職員及び作業員の今後については田満解決したのか。

**町長** 町有林の管理委託については、議会からも提言があり、今年度から委託する。永年、町有林の管理にあたってこられた委託職員及び作業員にはよく説明をし、処遇については、よい条件で全員組合の方で引受けていただくことで、返事をいただいている。

**問** 間伐、全伐調査評価又は、入札はどうなるのか。管理は職員で対応できるのか。

**課長** 本町の作業員に対する保険制度は不安定で万一不慮の事故が発生した場合対応しにくい。反面森林組合においては、労務共済等の制度が充実している。現在の作業員の方に辞めて下さいとは言っていない。全員組合で雇用する。間伐調査等は職員と組合の作業班で実施し、入札最低価格は公表せず、町の入札制度に従い公平に入札する。

**問** 森林組合三股支所が



本所に統廃合され、三股関係組合員は大変困るのではないかと思うが。

**問** 坊ヶ野林道の拡張舗装をして高畑から細目そして轟木までの林道開設に早急に取組んでほしい。

の林道に合流するので「ふるさと林道」の条件に該当する。

## まだなのか？

### 第二地区体育館



中石高男議員

**問** 二地区体育館について議会ある毎に要望しているが、その後の検討結果について詳細に聞きたい。

で最終処分場の整備やその他先に問題解決しなければならぬ事が出てきている。役場を中心に五つ体育館がある。その所を利用しておいてほしい。今はないものを早く造る事が町民福祉に一番いいと思う。皆さんの要望はいたい程わかるので早期に検討したい。

の林道に合流するので「ふるさと林道」の条件に該当する。

**町長** 必要性は充分認識している。時期が来たら全町の中長期的展望に立って検討する。

**問** 地質調査くらい計上してもよいのでは、地区民は総合計画のアンケートでも最高にスポーツ施設を希望している。又故中村英蔵氏が体育館建設基金として寄贈されている。その厚意に対してどう思うか。

に考えた。地質調査は建設年度に近い時に検討する。公民館の役員会の時などに町の問題点を話してもらい地区民の御理解を願いたい。

**問** 今度の予算に計上される事を期待していた。議会において採択されれば一、二年で計画されるのが通例では。

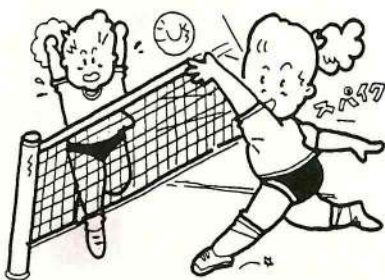
**町長** 本町の発展の為に御尽力されている事は充分認識している。諸々の事業を進めながら財政的に検討し体育館については総合的

に考えた。地質調査は建設年度に近い時に検討する。公民館の役員会の時などに町の問題点を話してもらい地区民の御理解を願いたい。

**町長** 採択されてから十数年経っているとき。現在において社会の動向の中

に考えた。地質調査は建設年度に近い時に検討する。公民館の役員会の時などに町の問題点を話してもらい地区民の御理解を願いたい。

に考えた。地質調査は建設年度に近い時に検討する。公民館の役員会の時などに町の問題点を話してもらい地区民の御理解を願いたい。



## 目指せ!! 観光名所へ



東村和往議員

**問** 椎八重公園の名称はいつ頃からか。

**課長** 以前は鳥津のつつけ丘と呼ばれていた。字が椎八重なので土地名を使った。四五年に椎八重公園と名称される。

**問** 公園の場所等を聞かれる事が多い、案内図はないのか。

**課長** 観光パンフが作っている。但し各商店にはおいていない。高速インターに地図をたのんだ。今後近い所の商店にも考えたい。

**問** 椎八重公園、上米公園の整備進捗状況については。

**課長** 上米公園は三年前より基本計画があり、現在整備を実施している。椎八重公園は本年度より基本計画を作成している。

**問** つつじ祭の時、長田の県道が渋滞する。シャトルバスの準備は出来ないか。

**課長** 検討したが色々な理由で実施しない。八年度鳥津さんの炭焼窯の奥にキャンプ場を買収する予定である。ここに駐車場を計画している。

**問** 他町に比べると観光協会への予算が少ない。若いメンバーを入れて新しい発想をもって観光に取り組

**問** 商工会のビジョン作

成委員会で駅前周辺開発に  
ついて構想されているが、  
町の整備基本計画にどう取  
り入れてもらえるか。

**町長** 駅前周辺開発につ  
いて商工会が一先懸命取り  
組んでもらっていると思  
う。重点事業の一つとして  
体制作りに取り組みたい。

## どうする？

### 超過密の二股中



山領征男議員

で実施して動向を見極めた  
い。

**問** 私は先の九月定例会  
において、三股中学校の過  
密解消策と三股西小学校の  
プレハブ校舎について考え  
を述べ、執行部の見解をた  
だしたが、教育委員会のな  
かで充分検討してみるとの  
事だったが、その結果はど  
うだったか。

**教育長** 生徒数の動向か  
らみて今早急に分離の必要  
はないとの事だった。西小  
についても後二年このまま

**問** 生徒数の把握が甘い  
のではないか。植木地区の  
新興住宅の状況、レジデン  
スパーク周辺の開発行為か  
らして生徒数が減少すると  
は考えられない。今のマン  
モス校では学習の面におい  
ても部活動の面においても  
支障を来しているゆとりが  
ない。恵まれた環境で子供  
達を学ばせるべきではない  
か。町長は諮問機関を作り  
その中で検討させたらどう  
か。

**町長** 充分理解している  
ことでもあり検討してみた  
い。

## 大丈夫なのか？ 総合計画



重久邦仁議員

**問** 実施計画平成七年度  
事業の進捗率について。

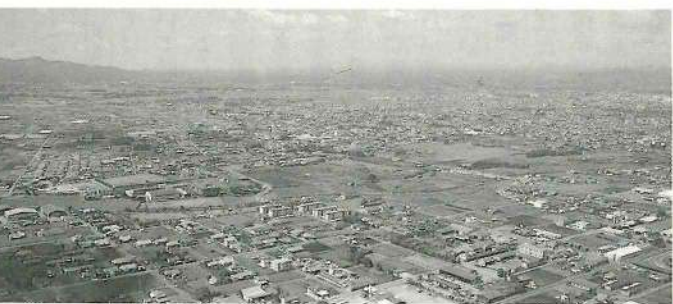
**課長** 全体について何%  
かわからないが、実施計画  
通り大体整合している。総  
合計画三点の基本構想では  
一部の見直しをしたが中味  
を充実させた。基本計画で  
は目標を達成する為体系的  
に明らかにした。実施計画  
ではローリングシステムで  
三年間の実施計画を作成し  
た。それぞれ時代に応じて  
見直ししている。

**問** それらの総合計画は  
議員にも配布出来るか。

**課長** 四月中旬には配れ  
る。

**問** 総合計画の人口推移  
について平成十二年度には  
二六、〇〇〇人が推定され  
ている。今後の人口推移  
は？

**課長** 五年前、目標人口  
を平成七年度は二四、〇〇  
〇人と推定していたが、国  
勢調査では二二、九四二人  
であった。従って平成十二  
年度は二五、〇〇〇人と改  
正した。



上米公園



# 安久桜木線の改良は



田上良夫議員

要望していききたい。

**問** 以前からの話だが、前目、三原間の新設道路の計画は。

**問** 日豊線との立体交差を始めとする県道安久桜木線の改良はどうなっているのか、その進捗状況は。

**町長** 安久桜木線は現在用地買収がなされており、平成九年度迄には完了すると聞いている。県に対しては早期整備を要請している。また立体交差についてもJ

Rとの協議も順調に進んでいるので平成十年度までに一連の工事を終りたいと、土木事務所で見ています。今後早期完成を



立体交差などの改良が待たれる桜木線

**課長** この路線は現在都城東環状線と名称も変わり、昇格となった。県も計画変更したようである。更に都城広域圏における道路網の見直し作業が終わればまた要望していく考えである。

**問** 早急に要請し実現化して欲しい。また高才餅原線についても早急に、改良整備を行うよう要望する。

# 盆地唯一の文化会館

## 総事業費33億円・平成10年完成

### 有効利用の体制作りが今後の課題

#### 視点・論点

文化会館建設がようやくのスタートである。

ここに至るまでには長い生みの苦しみがあつた。三回目にして、やっと予算成立である。その経緯をみると何と言つても多額の財源を必要とすることにあつた。議会は当然公債比率を心配し他の事業の遅れを懸念した。またその計画が具体性に欠ける面も多々あつた。しかし、その間にも文化協会などの団体からは早期着工のやいやの陳情だつた。

こうした背景をうけて議会は特別調査委員会を設置して財源面や施設面更には利用度や維持管理などの運営面などについて検討をした。そして機会あるごとに先進地の調査も行った。

その結果、造るのなら本物と言ふ意見が多くなつた。そして今回、自治省の提唱する『ふるさとづくり事業』をとりいれての着工である。

この事業は事業費の七五パーセントの借入れができ、そのうえその償還金を交付税で国が対応するもので、補助率五一パーセント位の極め

て有利な事業である。総事業費は33億円となり平成十年年度迄の継続費を組んだ次第である。

平成十年度末には大ホール八百席、小ホール二百席、そして図書館も備えた立派な文化会館が出来る予定である。

金を出せば建物はできる。後はその運用である。

今こそ運営方法やソフト面での有効利用をよくよく考えねばならない。

自治省の調べによると県や市町村が建設した公立文化ホールは全国に二千三百四十二(平成五年度末)にのぼるが、そのうち自治体が企画立案した音楽や舞台芸術等の使用日数が年間十日未満だつた施設が四一・六パーセント占めていたと言ふ。他人ごとではない。本町もこの文化会館を本町の文化の殿堂にするには人的システムとして文化施設にふさわしい企画・運営・技術の体制作りが重要であり、そのための職員の養成がこの事業の鍵とならう。

シリーズ③

みあげもそ

昭和五十六年度補助事業を受け梶山肥育組合を設立したメンバーの中から、鈴木兼雄さん、治明さん親子を訪ねて見ました。父親の兼雄さんは、高齢で何も出来ないとの事ですが、まだまだ元気です。治明さんは、昭和三十四年中学校を卒業と同時に大阪に集団就職されたそうですが、父の要望もあり昭和四十八年十四年間勤めた会社に別れを告げ帰郷し、就農したとのことでした。



鈴木治明さん(52) 順子さん(53) 直子さん(25) 健二さん(24) 鈴木兼雄さん(83) フサさん(80)

当初は農家に生まれながら農業の事は解らず、父兼雄さんの指導を受け乍ら五十アール耕作していた葉タバコを、一挙に一・二ヘクタールに増し和牛生産、五頭からの始まりであったそうです。

梶山肥育組合設立と同時に父親兼雄さんと親子でメンバーに加わって昭和五十七年から、平成二年頃までは一〇〇頭を肥育し、平成三年に二〇〇頭にしましたが、現在は、牛舎にゆとりをもたせた肥育態勢をと考え、一五〇頭に減らしたのようです。治明さんの息子、健二さん(24)が、三代目として、就農されるとか、治明さん夫婦も意欲的に取り組んでおられ木場牧場と高才原の牛舎をかねまわっておられました。すばらしい畜産農家でした。



さん夫婦も意欲的に取り組んでおられ木場牧場と高才原の牛舎をかねまわっておられました。すばらしい畜産農家でした。

いい旅



三島神社

床内の地頭であった三島通庸は明治三年三股の開拓(山王原)を行い三股郷の建設に力を尽くした。(三股小の校庭に子供達の成長を願って銅像が建てられている。)その人の神社が栃木県にある事を知っています。明治三十九年の頃、那須郡西那須野三島に移住して来た人達の手により、高潔な徳と偉業を称えて「三島神社」として祭られました。十月十日が例祭で、毎年盛大に行われるそうです。又、その近くに都城の母智丘の御分霊が「母智丘神社」の名で祭ってありました。

(K・M)

編集後記

日増しに春めいて来た今日この頃、新年度を迎えさあ、やるぞ!!とファイトが湧いてきませんか。昨年の今頃は初当選目指し恥かしながら血相を変えていた事を懐かしく思い出されませ。そして、新たな使命を胸に早一年。中でも広報委員の榮を受け試行錯誤で取り組んできましたが、いかにせん素人。ぜひ他町村か

らの御指導を仰ぎたいと今度、日之影、高千穂、五ヶ瀬の三町に研修が実現。それぞれの特色の中でも広報へかける熱意には圧倒されるものがありました。今回は、この研修成果を生かし、さらに内容を充実させ、より多くの皆様に読んでもらえる事をモットーに編集致しました。平成八年度八四億の予算にかけ期待は大きい。また私達広報委員も御期待に添えるべく一丸となって頑張ります。よろしく御指導の程を。

編集委員

- 委員長 山領 征男
- 副委員長 池田 克子
- 委員 小牧 利美
- 委員 吉田 浩

(K・I)

第3号

平成8年4月20日発行

発行 三股町議会

編集 議会広報委員会

〒889-19 ☎0986-52-1111

宮崎県北諸県郡三股町五本松1番地1

有益だった日之影研修